E２本日の試合結果一覧

開催日 **2020/01/26**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	205	試合会場	丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）	観客数	4,352
開始時間	12:00	終了時間	13:34	試合時間	01:34
主審	村中　伸	副審	森口　豊		

	通算							通算	
サントリーサンバーズ	16 勝 5 敗						ジェイテクトSTINGS	20 勝 2 敗	
	ポイント： 49							ポイント： 55	
		3	25	第1セット	19	0			
			25	第２セット	15				
			25	第３セット	22				
				第４セット					
				第５セット					

監督コメント

今日は２連敗しているジェイテクト戦に際し、選手はスタートから勢いを出し、相手に向かっていく気持ちが最後まで出て、全員の勝利だった。
特に昨日からのサーブとブロックが機能したのが勝因だと思う。
来週も厳しい戦いが続くが、しっかり練習していきたいと思う。
２日間、ホームゲームにたくさん来場して頂き、ありがとうございました。
これからも応援、宜しくお願いします。

監督コメント

終始相手チームのペースで試合が進み我々のバレーを全く出すことができなかった。ただ、負けはしたがこの敗戦を必ず次に繋げチームとして更にレベルアップできるよう取り組んでいく。
大阪大会の２日間、たくさんの応援ありがとうございました。引き続き宜しくお願いします。

要約レポート

昨日の勝利によりV・ファイナルステージ進出を決めて勢いに乗るサントリーサンバーズと現在１位のジェイテクトSTINGSの戦いは、大歓声の後押しを受けたサントリーが勝利しホームゲームを連勝で飾った。
第１セット、序盤から互角の戦いで終盤まで白熱した攻防が続くが、サントリーが小野の連続ブロックを含む５連続得点で第１セットを先取した。
第２セットも中盤まで１点を巡る攻防が続くが、サントリーは13−11の場面からムセルスキーのアタックなどでジェイテクトを突き放すと、一気に流れをつかみセットを連取した。
第３セット、後のなくなったジェイテクトはサントリーに流れを渡さないように、カジースキを中心とした攻撃で得点を重ねる。しかし、２セット連取し勢いに乗るサントリーが、大宅の巧みなトスワークから塩田、小野のアタックなどでジェイテクトを突き放し勝利した。

試合番号	206	試合会場	丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）	観客数	2,060
開始時間	15:00	終了時間	16:21	試合時間	01:21
主審	城　智人	副審	中山　健		

	通算							通算	
ウルフドッグス名古屋	8 勝 13 敗						FC東京	5 勝 17 敗	
	ポイント： 26							ポイント： 13	
		3	25	第１セット	18	0			
			25	第２セット	23				
			25	第３セット	18				
				第４セット					
				第５セット					

監督コメント

いつも応援、ありがとうございます。
これまでの試合を振り返り、ミーティングを重ね試合で実現させることをこれからも追求し準備し続け、一つ一つのプレーを続けていくことで選手たちは成長していく。
次の試合は小牧市でのホームゲームとなるので、たくさんの方々にお会いできることを楽しみにしております。

監督コメント

今日の試合は、リズムを作れず非常に難しい試合だった。
来週の試合に向けて、しっかり準備して戦わなければならない。
本日もありがとうございました。

要約レポート

確実に勝利し、ファイナル進出に望みをかけるウルフドックス名古屋と勝ち星を一つでも多くあげたいFC東京の一戦。
第１セット、序盤からWD名古屋は、ガスパリーニの強弱を付けたスパイクや傳田の速いスパイクで得点を重ね、セットを先取する。
第２セット、FC東京は佐藤、手塚のスパイクや、小田嶋、手原が要所でブロックを決め、16-14とリードする。しかしWD名古屋は、高松のサーブから相手のレシーブを崩すと４連続得点をあげ、逆転に成功し連取する。
第３セット、WD名古屋の勢いは止まらず、前田の多彩なトスワークから、相手のブロックを翻弄すると、スパイクが面白いように決まりセットを連取し、ファイナル進出に望みを繋げた。

試合番号	207	試合会場	パナソニックアリーナ	観客数	1,848
開始時間	12:00	終了時間	13:24	試合時間	01:24
主審	山本　和良	副審	澤　達大		

	通算							通算	
JTサンダーズ広島	18 勝 4 敗						VC長野トライデンツ	2 勝 20 敗	
	ポイント： 53							ポイント： 6	
		3	25	第１セット	17	0			
			25	第２セット	23				
			25	第３セット	21				
				第４セット					
				第５セット					

監督コメント

選手たちのモチベーションは高く、ストレート勝ちで試合をしっかりと終えることができて良かった。
スターティングメンバーで出場した武智、安永、そして八子が素晴らしいパフォーマンスだったと思う。
ファンの皆さまご声援有難うございました。

監督コメント

本日の試合、第１セット、ミスが多く出てしまった。
第２、第３セット、コンビネーションはよかったがセットを奪うことができなかった。
ブロックディフェンスが足りなかったので、来週までに準備をして挑みたいと思います。
本日も応援有難うございました。

要約レポート

１つでも順位を上げたいJTサンダーズ広島とVC長野トライデンツの一戦。
第１セット、序盤から４連続得点でJT広島がリズムをつかむと、陳や武智のスパイクで順調に得点を重ねていく。対するVC長野は笠利や池田のスパイクでどうにか流れを作ろうと反撃を試みるもそのままJT広島がセットを先取する。
第２セット、中盤まで一進一退の攻防が続き、JT広島は井上(航)の好レシーブと深津の巧みなトスワークで相手ブロックを翻弄する。VC長野は粘り強いレシーブで繋ぎ、パトリックや池田がスパイクで得点を重ねていくが一歩及ばず、安定した試合運びを見せたJT広島が連取した。
第３セット、あとのなくなったVC長野はパトリックを中心にボールを集め得点を重ね、両者譲らぬ展開となる。終盤、VC長野は矢貫のブロックや笠利のサービスエースで18-15と一歩抜け出したかにみえたが、深津のブロックで一気に流れを引き寄せたJT広島が八子や陳のスパイクで、追いすがるVC長野を振り切り、見事勝利を収めた。

試合番号	208	試合会場	パナソニックアリーナ	観客数	2,949
開始時間	15:00	終了時間	17:26	試合時間	02:26
主審	原　啓之	副審	戸川　太輔		

	通算							通算	
パナソニックパンサーズ	20 勝 2 敗						東レアローズ	8 勝 14 敗	
	ポイント： 58							ポイント： 28	
		3	28	第１セット	30	2			
			29	第２セット	27				
			25	第３セット	18				
			19	第４セット	25				
			22	第５セット	20				

監督コメント

東レの粘りに苦しめられたが、ホームゲームの雰囲気やファンの皆さんのご声援もあり勝利することができた。
選手一人一人が最後まで諦めず、戦い抜いてくれたこと、本当にうれしく思う。
まだ厳しい戦いが続くが、いま一度気持ちを引き締め一戦一戦しっかりと戦っていきたい。
２日間たくさんのご声援ありがとうございました。

監督コメント

今日の試合はフルセット負けの悔しい戦いとなりました。
連敗が続いているなかでチームの武器がなにかを確認して戦っただけに非常に残念です。
そのチームの武器「気迫、気合」を残り５試合はすべて出しきって戦っていきたいと思います。
本日もたくさんの応援有難うございました。

要約レポート

第１セット、パナソニックパンサーズはクビアクや久原のブロックも光り着実に得点を重ねる。何としても勝ち星をあげたい東レアローズは、ルジェの高さのある攻撃や星野のレフトからの速い攻撃を中心に得点を重ねてデュースに持ち込み、このセットを取る。
第２セット、パナソニックはセッター深津が的を絞らせないトスワークで得点に繋げ、東レは要所でアウンの攻撃が決まり、このセットも白熱した展開となる。終盤、クビアクの好レシーブから得点に繋げたパナソニックが29-27で奪取する。
第３セットに入ると、東レは富松、李の両センターの活躍で序盤に勢いに乗るが、対するパナソニックが多彩な攻撃パターンから得点を重ね、清水の連続サービスエースで点差を広げると、そのままこのセットも連取する。
第４セット、東レは富松を中心に粘り強いブロックから攻撃に繋げ、序盤からリードを広げる。パナソニックは清水にボールを集めて応戦するも、東レは鈴木がサービスエースで盛り上げ、このセットを奪取する。
第５セット、東レのルジェの３連続サービスエースに対し、パナソニックの小宮がサーブで連続得点に繋げ、両者譲らぬ一進一退の攻防が続く。その後も、東レの息の合った速い攻撃や、パナソニックは好レシーブからクビアク、清水を中心に攻撃を決める展開に会場は大きな歓声に包まれ、最後はパナソニックが逃げ切り、今シーズン最後のホームゲームを勝利で締めくくった。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。